

くずまき 議会だより



30年度決算を認定

住み続けたいまちづくりを推進

2p

町のお金をどう使った ~決算関係質疑~

6p

中心市街地の活性化策は ~3議員が一般質問~

10p

笑顔のつどい³⁵



表紙

長寿を祝う会でバイオリン
を演奏する園児
(関連14P)

住み続けたいまちづくりを推進

子育て支援・生きがい支援整備を促進

9月定例会議

9月定例会議は、9月6日から13日までの8日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が4期目の再任に当たって所信表明を行いました。町長から提出された議案は、30年度会計の決算認定のほか元年度補正予算など14件が提出され、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問では3人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



江刈デイサービスセンターを訪問する五日市保育園児

前年度より支出1割減 決算の概要

30年度の全会計の総支出額は、76億4598万円。前年度比10億9794万円、12.6%減少しました。

一般会計の支出額は、64億2633万円。前年度比8億543万円、11.1%の減少です。養護老人ホーム葛葉荘改築事業の終了や新病院改築事業終了による病院会計への繰り出しの減少などが主な要因です。

3特別会計の支出総額は、12億1965万円。前年度比2億9251万円、19.3%減少しました。

町の課題解決として「高校生までの医療費無料」、「保育料の軽減」な

どで子育て世代の支援環境、「高齢者外出支援事業」、「高齢者見守り支援事業」などいつまでも安心して住み続けられる安全対策、「山村留学生制度」、「公営塾」などで将来の町を担う人材育成の場を整備しました。

地域の活性化を支援

監査委員の意見

30年度決算はすべての会計が黒字です。各種財政指標は堅調であり、財政運営の健全性が確保されています。固定資産税や町民税などの普通税と国保税の未収金は270万円減少しており、職員の徴収に対する創意工夫

町長4期目の所信を表明 夢を実現(かたち)に



鈴木町長

4期目の町政運営は、「魅力あふれる『まちづくり』」、「光り輝く『まちづくり』」、「元気に満ちた『しごとづくり』」の三つの挑戦を軸に、夢を実現(かたち)にするため「ひと・地域・資源」を活かし、「一歩先行くまちづくり」に果敢に挑戦します。

次代を担う人材の育成と確保のため、就学前教育の充実、児童生徒の国際理解・情報・キャリア教育の充実にも努めるほか、山村留学制度を推進して葛巻高校の1学年2学級を維持し、学習塾での学力量向上に取り組めます。基幹産業の新たな展開と発展を目指すため、新葛巻型酪農構想を推進し、雇用を創出できる経営体の育成に努め、森林環境譲与税を活用した森林資源循環の取り組みを推進します。

の成果が表れています。定住対策のほか、山村留学生寄宿舎整備など葛巻高校の存続支援による地域の活力維持、地区公民館整備による自治会活動の支援、町道茶屋場田子線の進捗など町民が幸せを実感できる町づくりを推進しています。

財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく30年度の一般会計、特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

30年度決算状況

会計名	収入	支出	
一般会計	72億2120万円	64億2633万円	
特別会計	国民健康保険事業	9億7515万円	9億4618万円
	農業集落排水事業	2億925万円	1億9995万円
	後期高齢者医療事業	7799万円	7352万円
合計	84億8359万円	76億4598万円	

健全化判断比率

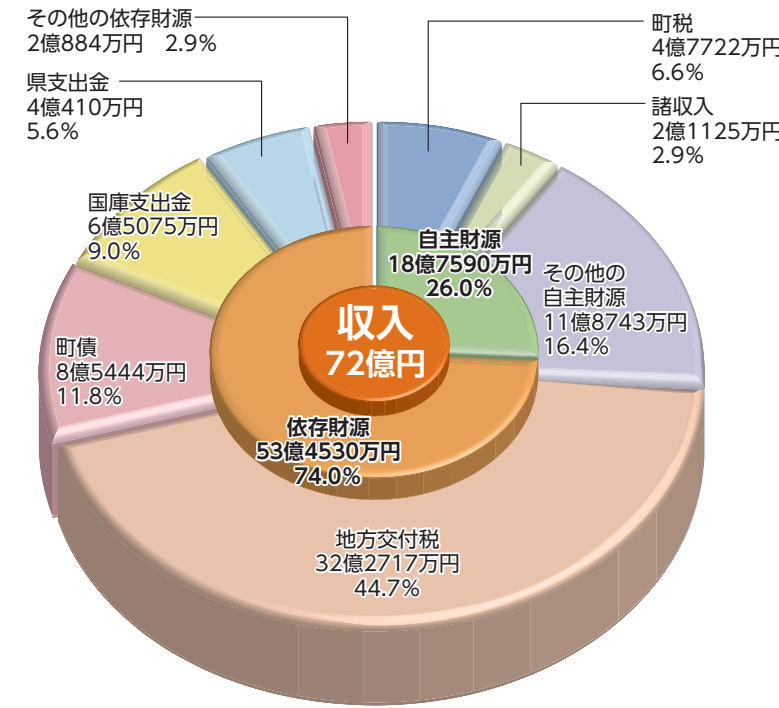
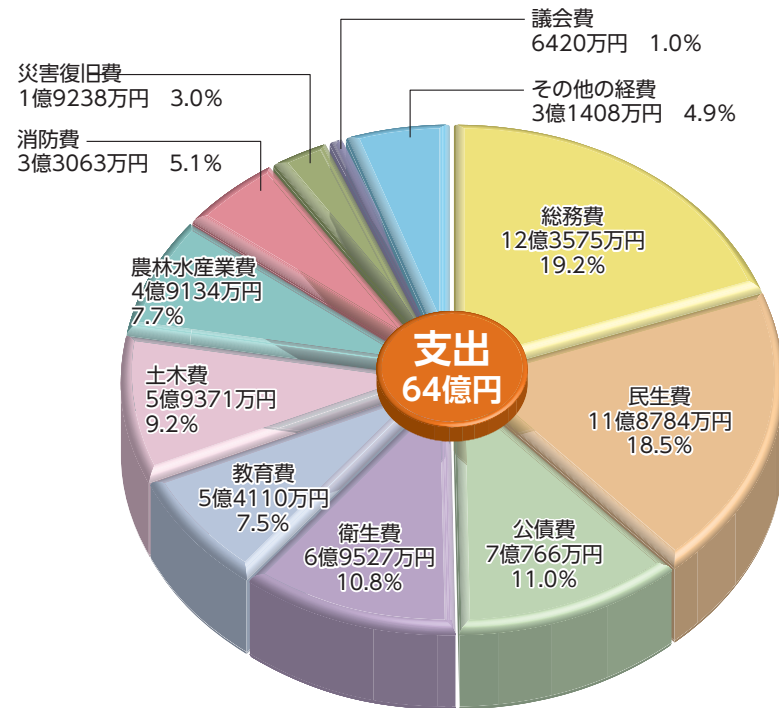
各指標	30年度	29年度	比較
実質赤字比率 (15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率 (20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率 (25%)	6.3%	5.4%	0.9
将来負担比率 (350%)	16.2%	なし	皆増

※各指標の()内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

ハード事業完成で支出減

町の貯金58億円に微増

項目	内容
総務費	町の財産管理や町税の事務などに充てる経費
民生費	高齢者や障がい者、保育所運営など社会保障に充てる経費
公債費	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
衛生費	保健・衛生・環境などの業務に充てる経費
教育費	小・中学校の運営や社会教育・体育事業に充てる経費
土木費	道路・公園・河川などの建設や維持管理に充てる経費
農林水産業費	農林・畜産業の振興などに充てる経費
消防費	防災や災害時の活動などに充てる経費
災害復旧費	災害復旧工事などに充てる経費
議会費	議会の運営に充てる経費
その他の経費	商工費、労働費、諸支出金、予備費などの経費



項目	内容	
自主財源 〔入で自力で取 り当てるお金〕	町税	町民税や固定資産税など、町民の皆さんからの税金
	諸収入	町税の延滞金や預金利子など
	その他の自主財源	保育料や、他の収入科目に含まれないお金
依存財源 〔国・県などから、交付 されるお金〕	地方交付税	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町債	事業を行うために国や金融機関などから借りるお金
	国庫支出金	事業を行うために国からもらうお金
	県支出金	事業を行うために県からもらうお金
	その他の依存財源	地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金など

家計簿に例えると (30年度一般会計の支出を町民一人当たりになると)

子供への仕送り
80,000円
繰出金 7.6%

食費
130,000円
人件費 12.4%

医療費等
88,000円
扶助費 8.4%

住宅ローン等
115,000円
公債費 11.0%

年金掛金 保険料等
265,000円
負担金等 25.3%

家の増改築等
231,000円
建設事業費 22.1%

光熱水費等
138,000円
物件費 13.2%

1,047,000円
(31年3月末の人口) 6,135人

29年度より増改築の費用が5万円減ったわ。

収入総額は72億2119万円で、前年度比6億5084万円、8・3割の減少です。歳入全体の4割を占める地方交付税は32億2717万円で、前年度比3159万円、1・0割減少しました。町債(借入金)は8億5444万円で、養護老人ホーム葛葉荘改築、総合運動公園多目的グラウンド改修など大型ハード事業完成により前年度比1億1417万円、11・8割減少しました。町税は4億7722万円で、前年度比85万円、0・2割減少しました。支出総額は64億2633万円で、前年度比8億543万円、11・1割の減少です。民生費は11億8784万円で、養護老人ホーム葛葉荘改築事業の完成により前年度比5億2647万円、30・7割減少しました。衛生費は6億9527万円で、新病院建設に対する補助金の減額により前年度比4億5790万円、39・7割減少しました。災害復旧費は1億9238万円で、28年台風10号豪雨災害復旧事業の進捗により前年度比3億2184万円、62・6割減少しました。公債費(借入金の返済)は7億766万円で、繰り上げ返済により前年度比1億1775万円、20・0割増加しました。基金(貯金)残高は58億1740万円で、前年度比6020万円、1・0割増加しました。町債(借入金)残高は78億8705万円で、前年度比1億8543万円、2・4割の増加です。

30年度決算を検証 町のお金をどう使った？



くずまき型DMOのサイクルツーリズム

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、9月10日に各会計の30年度決算の審査を行い、町民の皆さんの税金が効果的かつ適正に使われているか、事業の実施効果や状況はどうだったのか確認しました。主な質疑の内容をお知らせします。

予算執行 総務 企画

問 予算に対する支出率の評価は。

答 全体の支出率は79.3割。翌年度への繰り越し額が11億7023万円と多額なため、率が低くなった。繰り越し額を含めた実質的な支出率は94.5割となる。

学校パソコン 教育 委員会

問 小中学校への教育用パソコン導入による学習成果は。

答 教育用パソコンはタブレット型で校内にWiFi（ワイファイ）※

消防団員 総務 企画

問 消防団員の充足状況と確保策は。

答 団員定数に対する充足率は全体で83.3割、分団ごとでは65.2割から100割。新団員の確保は難しく、OBによる機能別団員の活動で補完したい。今後は定員の見

環境を整えており、持ち歩いての学習活動ができる。映像による学習やインターネットによる調べ学習により、理解を深める効果を高めている。

※WiFi（ワイファイ）相互接続が可能な無線通信の規格。

火災原因 総務 企画

問 昨年度発生した火災の出火原因と予防策は。

答 火災は3件で、出火原因は野焼きからの延焼1件と漏電2件。今年度も野焼きによる火事騒ぎがあり、くずまきテレビなどで注意喚起していく。

基金積み立て 総務 企画

問 近年、財政調整基金と町債減債基金の残高に増減がない理由は。

答 財政調整基金は災害発生などにより、一般財源が財源不足となった場合に対応するのが目的。これまでの災害などの対応では3億円から4億円の支出だったことから、

現在の同基金残高8億円で不測の事態に対応できると考えている。

情報教育 教育 委員会

問 情報通信機器の使用に関する児童生徒への指導は。

答 町の子どもたちがインターネットに触れている時間は、県平均に比べて高いという調査結果がある。町内各校ではPTAの協力を得て、情報メディアとの関わり方を指導していく。

DMO事業 総務 企画

問 くずまき型DMOと日本版DMOの違いは。

答 日本版は観光客の増加による外貨獲得を目的に、民間のDMO法人が主導で取り組みをしている観光庁の事業。くずまき型は町民と事業者と行政が一体となり、町への愛着の醸成と人材育成を図るとともに、誘客を促

不能欠損 住民 会計

問 不能欠損額の内容と

進して地域経済の活性化、雇用の創出、所得の向上を図り、人口減少に歯止めをかける目的の取り組み。取り組みが違いため、日本版への法人登録はしていない。県内では一関市・平泉町、八幡平市、宮古市、釜石市の4法人が日本版に登録している。

財政指標 総務 企画

問 実質公債費比率と将来負担比率の分析は。

答 実質公債費比率は前年度比0.9ポイント増の6.3割となり、将来負担比率は24年度から前年度まで比率なし（0.0割）だったが30年度は16.2割となった。病院建設や江川地区水道といった事業の借入れなどが要因。

賛成討論（要約）

移住世帯数が増加一層の充実を期待

山崎 邦廣 議員



30年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成します。

人口減少対策では、定住促進住宅の整備など移住者・定住者を受け入れるための基盤整備が進み、定住対策住宅取得支援事業では、引き続きこの町で暮らし続けることができる取り組みが図られました。

平成22年以降の移住世帯数は、135世帯となり今後のさらなる充実を

期待します。

町民の安全・安心の環境整備では、防災ハザードマップと防災ガイドブックが全世帯に配布され、防災意識の啓発が図られました。

町の新たな魅力づくりとして策定された「まちなかエリアビジョン」は、これまでに無い視点によりまちづくりを進めるもので、会社の起業があったことは大きな成果です。

一般会計は、各種事業が効率的・効果的に執行されたことを評価します。

特別会計は、それぞれの予算の目的どおりに執行され、安心できる医療の確保と衛生的な生活環境の向上が図られていると評価します。

反対討論なし

9月定例会議で人事案件や条例改正、元年度補正予算などの審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

人事案件

●副町長の同意
 觸澤義美さん（田子）を再任することに同意しました。任期は5年9月30日まで。

●教育委員の同意
 中六角保広さん（中村）を再任することに同意しました。任期は5年9月30日まで。

●人権擁護委員の推薦
 上小路隆男さん（田代）を推薦することに決定しました。再任で、任期は4年12月31日まで。

条例

●森林環境譲与税基金条例の新設
 今年度から交付される森林環境譲与税（※1）を財源とした基金を設置。今年度の同譲与税交付見込み額は2100万円。

（※1）森林環境譲与税
 温室効果ガス削減や災害防止のため、自治体が森林の整備に必要な財源を確保する目的で創設された譲与税。

●印鑑条例の改正
 印鑑登録の記載事項に旧氏を追加し、性別を削除など。

●家庭的保育事業等条例の改正
 家庭的保育事業（※2）をする者が代替保育として確保できる事業所の追加、食事の自園調理に関

する経過措置など。

（※2）家庭的保育事業
 町の認可を受けた事業者が、保育者の居宅などで3歳未満の子どもを対象に保育する事業。

●特定教育・保育施設等条例の改正
 特定教育・保育施設（※3）、特定地域型保育事業（※4）をする者が確保する連携施設の義務の緩和、提供する食事の費

用の取り扱いの変更など。

（※3）特定教育・保育施設
 町の確認を受けた認定子ども園・幼稚園・保育所。私学助成を受ける幼稚園は含まれない。
 （※4）特定地域型保育事業
 町の確認を受けた事業者が行う小規模保育事業。

●放課後児童健全育成事業条例の改正
 放課後児童支援員の基礎資格の改正など。



修繕工事を行う五日市袖山線

補正予算

一般会計に1億9328万円追加し、総額を74億2407万円としました。主な内容は、公共施設等整備基金積み立てに9999万円など。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計（第2号）	1億9328万円	74億2407万円
病院事業（第1号）（資本的支出）	200万円	8389万円
《主な予算の使いみち》		
■ 公共施設等整備基金積み立て	9999万円	
■ 地域づくり振興基金積み立て	4999万円	
■ 道路長寿命化修繕工事（五日市袖山線など）	1700万円	

【主な質疑】

●道路修繕
 建設水道
 道路長寿命化修繕工事の対象路線は、町道五角線、町道四日市中村線の3路線の修繕工事を行う。

●医療機器
 葛巻病院
 医療機器の購入が補正予算による対応となつたのはなぜか。
 今年度途中で臨床検査技師が1人退職し、嘱託員を補充しているが、非常勤である。購入予定の機器は簡単な操作で血液検査が行えるので、休日・夜間に医師や看護師が検査できる。

議員の判断（議決結果）

○ 議員の判断で決定した議案

議案等番号	件名と主な内容	議決結果	賛否
議案32号	元年度一般会計補正予算（第2号）…1億9328万円を追加して予算額74億2407万円に	可決	全員賛成
議案33号	元年度国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）…資本的支出の予算額を200万円追加して予算額8389万円に	可決	全員賛成
議案34号	印鑑条例の改正…印鑑登録証明書の記載事項に旧氏を追加など	可決	全員賛成
議案35号	家庭的保育事業条例の改正…連携施設の確保義務の緩和など	可決	全員賛成
議案36号	特定教育・保育施設条例の改正…連携施設の確保義務の緩和、食事費用の取り扱い変更など	可決	全員賛成
議案37号	放課後児童健全育成事業条例の改正…放課後児童支援員の資格要件の変更など	可決	全員賛成
議案38号	森林環境譲与税基金条例の新設…森林環境譲与税を財源とした基金を設置	可決	全員賛成
議案39号	人権擁護委員の推薦…上小路隆男さん（田代）を推薦（再任）	適任	全員賛成
認定3号	30年度一般会計決算の認定	認定	全員賛成
認定4号	30年度国民健康保険事業勘定特別会計決算の認定	認定	全員賛成
認定5号	30年度農業集落排水事業特別会計決算の認定	認定	全員賛成
認定6号	30年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定	認定	全員賛成
同意1号	教育委員の同意…中六角保広さん（中村）を再任することに同意	同意	全員賛成
同意2号	副町長の同意…觸澤義美さん（田子）を再任することに同意	同意	全員賛成



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

問 中心市街地の活性化策は

答 交流拡大で賑わいを創出

まちなか活性化
議員 町道茶屋場田子線の開通に伴い、「まちなか」の衰退・空洞化を懸念。さらなる中心市街地活性化の加速を図るべき。
町長 これまで中心市街地活性化事業では、商工会と自治会などで組織する「まちなか活性化協議会」を中心に、四季の特色を活かしたイベントをはじめ、街路灯へのハンギングバスケットによる美化やフラッグの取り付け活動を展開した。このイベント等で「まちなか」の賑わいの創出に成果を上げる一方で、中心市街地の個店への誘客や売り上げの増加、周遊性・回遊性の強化を感じた。併せて「くずまき型DMO事業」では、「くずまき観光地域づくり協議会」を推進母体に、観光を切り口に地域GDPを拡大



まちなかイベントでのお菓子まき

させ、若い世代の魅力的な就労の場を創出し、町の最重要課題の人口減少歯止めに取り組んでいる。今年度は「自転車で訪れなくなる町」を目指す「くずまき型サイクルツーリズム」の推進、町の特産物を活かした商品開発、リノベーションまちづくり講習会の開催や遊休不動産等の利活用の検討、若者・高校生の活動による高校の魅力化、若者世

代の定住促進等を図る。加えて、移住体験ツアーの企画・運営や移住関連情報の発信、町内スポーツ団体や宿泊施設との連携によるスポーツツーリズムを推進し、これまで以上にスポーツ大会や合宿誘致に努め交流人口の拡大を図り、さらなる賑わいの創出に取り組む。
議員 東京五輪聖火リ

聖火リレールート

レールートの再考・復活実現の見通しを伺う。
町長 7月定例会議で、ルートから除外された5町村と県町村会が県に対し、ルートの再考を申し入れた旨の答弁を行っている。これに対し、県を経由し「国際オリンピック委員会」の承認を得ての決定から変更はできない旨の回答があった。聖火リレーは「復興五輪」の理念の下、「希望の道をつなごう」をコンセプトに実施するものであり、県では東日本大震災からの復興「オール岩手」の体制で推進する中、5町村だけの除外は残念である以上に遺憾であり、未だに納得いく説明がなく決定経緯も不透明で強い疑問を抱いている。今後は、町民の皆様が世紀のスポーツイベントに関わる機会を創出に取り組んでいく。

今、ここが聞きたい

～ 一般質問に3人が登壇、町政を問う～



柴田 勇雄 議員

- ・中心市街地の活性化策は
- ・当町の聖火リレールート復活は

11
ページ



山岸 はる美 議員

- ・ツキノワグマの食害対策は
- ・医師等の確保対策は
- ・給食の主食再開の見通しは

12
ページ



山崎 邦 廣 議員

- ・新庁舎周辺道路の整備充実は
- ・小規模農業の経営推進は

13
ページ

9月9日に3議員が一般質問を行いました。一般質問は町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

- ・町ホームページ <https://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>
- ・または、「葛巻町議会」で検索



やまざき くにひろ
山崎 邦廣 議員

問 新庁舎周辺道路の整備充実は

答 新庁舎建設と連携し機能向上

道路の機能充実

議員 新庁舎地域の道路整備計画について伺う。

町長 町道役場線は、旧遠藤邸を撤去したスペースを活用して通常の車道幅員より50センチほど広い片側3.5メートル。これは、役場新庁舎の建設工事に伴う関係車両の増加を見越し仮設の状況としているもので工事終了後、幅員は現況と同等の構造で歩行空間の構造は、今後詳細を検討していく。そのほか路面ペイント、標識の設置や、複合施設として消防分署が併設されることから、緊急車両の自動表示灯の設置、旧遠藤邸跡地の空間や蔵を利用した「ポケットパーク」整備などが想定されるが、町道役場線の再整備と併せ附帯的な設備として検討していく。国道と町道茶屋場田子



道路幅が広がった町道役場線

線の接続箇所には、役場新庁舎の案内標識など「葛巻らしさ」をアピールできるデザインを採用しつつ、道路全体の機能が高められるよう検討を進めていく。

小規模農業の振興

議員 農業振興での小規模農業の経営推進について伺う。

町長 平成27年の「農業センサス」では、本町農家戸数は農業経営体数が

443戸、うち耕作面積が30アール以上で販売金額が50万円を超える販売農家数は427戸、そのうち専業農家は168戸であり、作付け・飼養別では乳用牛164戸、肉用牛122戸、野菜92戸、経営地別では1戸未満が159戸に対し、10アール以上が82戸となっており酪農中心の畜産農家に農地集積が進む一方で、経営規模の小さい農家も多く存在している。

国・県では、認定農業者や人・農地プランで中心的経営体に位置づけられる農業経営体に農地を集積し、補助事業を適用する仕組みで、小規模農家は農業機械等の導入事業の「いわて地域農業マスタープラン実践支援事業」などでの採択は難しい状況。

このため、町単独で「葉タバコ栽培品質向上対策事業」や「畜産労働力負担軽減対策事業」、町農業再生協議会の「葛巻型農業構築支援事業」を創設し、小規模農家の支援を行っている。

今後、小規模農家や高齢者でも生きがいを持って農業が続けられるよう様々な支援を検討していくとともに、離農した場合の農地集積など、地域全体の農業生産力が低下しないよう取り組んでいく。



やまざき みるみ
山岸はる美 議員

問 ツキノワグマの食害対策は

答 原則は電気柵での追い払い

有害鳥獣被害

議員 有害な鳥獣による農作物の被害状況とその対応は。

町長 最も大きい被害はツキノワグマで、デントコーン畑などの被害が多く、年間40件から50件ほどの情報が寄せられている。被害や目撃情報があつた際は、職員による



熊の食害に遭ったデントコーン畑

現状把握、くずまきテレビや屋外告知放送による情報提供、広報くずまきやチラシで注意喚起を行っている。

県では、ツキノワグマの地域個体群の安定的な維持を図る観点から原則「追い払い」の方法によることから、町では電気柵の導入費用の助成を創設し、今年度は7件、27

狩猟資格の助成

議員 狩猟資格の取得に對して助成の考えは。

町長 猟友会の会員は現在9人。将来的に有害鳥獣の駆除が困難にならないように、資格取得に必要な費用助成など他の事例を参考に検討する。

医師等の確保

議員 岩手の医師充足度は全国最下位だが、医師と看護師の確保策と、医療クランク（※）配置による医師の負担軽減を図る考えは。

町長 医師確保は、医師住宅などの受け入れ環境の整備に努め、今後も県医療局、岩手医大、県立病院などに派遣要請を続けていく。

看護師、薬剤師、臨床検査技師などは、職員採用の募集を実施しても応

募がない厳しい状況だが、町の看護職員等養成修学資金貸付金制度の周知・活用で確保に努める。

医療クランクは、現在2人配置している。医師の勤務環境の改善と医療の質の向上につながるよう、今後さらに検討する。

（※）医療クランク
診断書作成など医師の事務作業を補助するスタッフ。

主食の再開見直し

議員 学校給食の主食再開の見直しは。

町長 学校給食の主食である「米飯」と「パン」は、平成29年に提供業者が倒産して以来、実施できていない。今年度、保護者の経済的な負担軽減のため、一年分の町産米を児童生徒の家庭に配布した。主食の持参は負担になっていると認識しており、早い時期に解決できるよう協議・検討する。

くずまきの笑顔

長寿を祝う会に参加の皆さん



長寿を祝う会は、町内4会場で行われました。表紙と本ページの写真は、9月16日に葛巻小学校体育館で行われた中部地区の長寿を祝う会です。米寿の方を代表して藤岡一雄さん（平船）、喜寿の方を代表して向川原幸恵さん（新町）が記念品を受け取りました。アトラクションとして、葛巻保育園の年長児がバイオリンを演奏しました。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

7月	6,000円	（誠心会納涼夏祭りほか）
8月	49,500円	（アットホームくずまき納涼夏祭りほか）
9月	24,000円	（明神穴まつりほか）

次の定例会議は**12月6日(金)**です。

編集後記

初秋9月は忙しい月でした。定例会議、知事選挙、まちなかの町道開通、秋祭り、敬老行事、2回の台風の来襲など盛沢山でしたが有意義な長月でしたか。

これから朝夕めっきり冷え込んでいきますが、風邪など召さぬようご留意ください。

広報常任委員会
委員長 柴田 勇雄